

第 17 回 自動車安全シンポジウムの開催について

➤ 自動車安全シンポジウム開催概要

自動車安全シンポジウムは、国土交通省における自動車安全対策を発表するとともに、国民の意見を聞く貴重な機会と考えられる。平成 25 年から一般の参加者を対象とした企画と、自動車産業の関係者を対象とした企画を 1 年ごとに切り替える形式で開催するようになった。

第 17 回は、自動車技術会「人とくるまのテクノロジー展 2016 名古屋」開催期間に合わせて自動車産業の関係者を対象とし、下記の企画で開催する。

○今年度のテーマ

交通事故のない社会を目指した今後の車両安全対策のあり方について

○開催主旨

- ・ 我が国の交通事故死者数は近年減少傾向にあったものの、高齢化の一層の進展等を背景に、平成 27 年には 15 年ぶりに増加（前年比＋4）に転じ 4,117 人となった。そのような状況の中で、道路交通安全に関する新たな政府目標である第 10 次交通安全基本計画が本年 3 月に策定されるとともに、国土交通省交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会技術安全ワーキンググループにおいて、車両安全対策を取り巻く状況の変化等を踏まえた今後の対策の方向性について報告書がとりまとめられる予定である。本シンポジウムでは、これらを踏まえ、最近の我が国における交通事故動向とそれに対する車両安全対策の実施状況及び今後の方向性について、講演及びパネル討論形式により説明を行う。
- ・ 第 1 部【講演】では、近年の車両安全対策の動向、特に国土交通省交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会技術安全ワーキンググループにおける審議結果について報告するとともに、最新の安全技術の動向に関する講演を行う。
- ・ 第 2 部【パネルディスカッション】では、交通事故動向とそれに対する車両安全対策の実施状況及び今後の方向性について幅広い視点で議論を深める。

○開催時期： 平成 28 年 6 月 29 日（水）
（自動車技術会「人とくるまのテクノロジー展 2016 名古屋」開催期間中）

○開催場所： ポートメッセ名古屋

○参加者数： 600 名程度

➤ シンポジウムの構成案

【第1部】講演

①今後の車両安全政策の方向性について

猪股博之（国土交通省 自動車局 技術政策課 技術企画室長）

②自動車の安全技術の開発動向について

高橋信彦（日本自動車工業会 安全・環境技術委員会 安全部会長）

③交通政策審議会陸上交通分科会自動車部会技術安全ワーキンググループ報告書のとりまとめを受けて

鎌田 実（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

【第2部】パネルディスカッション

司会：

鎌田 実（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

パネリスト：

稲垣 昇（日本自動車連盟 交通環境部長）

猪股 博之（国土交通省 自動車局 技術政策課 技術企画室長）

岩貞 るみこ（モータージャーナリスト）

高橋 信彦（日本自動車工業会 安全・環境技術委員会 安全部会長）

水野 幸治（名古屋大学大学院工学研究科教授）

➤ 参考：過去5年のタイトル

第12回(2011)「ヒトとクルマの共存をめざして～先進技術を活用した安全対策～」

第13回(2013)「悲惨な交通事故をいかに防ぐのか～車両安全技術の普及に向けて～」

第14回(2013)「いのちを守るクルマの今～知っておきたい安全技術とその使い方～」

第15回(2014)「国際社会における自動車安全戦略と国際基準調和」

第16回(2015)「交通安全のための予防安全技術～これからの車両安全対策のなかで～」

以上